

目標達成計画

目標達成計画は、自己評価及び外部評価結果をもとに職員一同で次のステップへ向けて取り組む目標について話し合います。

目標が一つも無かったり、逆に目標をたくさん掲げすぎて課題が焦点化できなくならないよう、事業所の現在のレベルに合わせた目標水準を考えながら、優先して取り組む具体的な計画を記入します。

【目標達成計画】					
優先順位	項目番号	現状における問題点、課題	目標	目標達成に向けた具体的な取り組み内容	目標達成に要する期間
1	35	災害時の地域との連携を念頭に、地域防災に関するかかわり方への参加と協働が必要である。	施設の防災に関する取り組みを地域に知っていただく。また地域での防災活動についても理解、協働していけるようにしていく。	地域との協力関係を築けるように訓練開催時に地域の方への案内や参加の呼びかけや地域での防災訓練に参加していく。	12ヶ月
2	38	集団のレクリエーションや楽しみ方になっていることがあるので、個々のご利用者の好まれる空間づくりを工夫していく必要がある。	個々のご利用者の生活の流れを知り、好まれる空間を知り、ご自分の居場所を感じていただける空間の演出を行う。	大きな空間だけではなく、リビングの中においても、お一人お一人が落ち着いて過ごしていただける空間を作り、穏やかに過ごしていただけるように努める。	12ヶ月
3	37	入居者の重度化が進み、意思疎通や自己決定が困難なケースが増えている。それに伴い、介護力や医療知識の習得などの研鑽が課題である。	重度化しても安心して生活できる介護力や医療知識を身に付けるとともに、医療機関との連携を密に図り、グループホームでの生活の継続を維持していく。	職員の知識と技術の向上を図り、入居者の状態に合わせた、適切な支援が行えるようになる。主治医との連携を密にすることで、入居者に安心感のある生活を維持出来るように努める。	12ヶ月

注)項目の欄については、自己評価項目のNo.を記入して下さい。項目数が足りない場合は、行を挿入してください。